

一般質問通告一覧表(子ども議会)

* 一般質問日 7月30日(木曜日) 午後1時30分から

順番	質問者	テーマ	質問または提案の内容
1	さかぐちりょうや 坂口 颯哉	1 横断歩道について	田原本小学校の近くにある小阪医院前の交差点は、まず1つ目の横断歩道を直進します。その後、また横断歩道を右にわたって、反対の歩道まで歩きます。そのため、2つの横断歩道をわたらなければいけません。 青信号の間に、部団全員が1回で渡り切れないことがあります。焦って走ると危ないですし、雨の日は待つ時間が長くなって濡れてしまいます。部団で渡る途中で、2つに別れてしまうこともあるので困っています。 その交差点を東京都の渋谷区にある、スクランブル交差点のように斜めに渡ることはできないのでしょうか。スクランブル交差点のようにすると部団が別れることなく、一気に渡れるので登校や下校をしやすくなると思います。 安全に登下校できるように、考えていただきたいです。
2	すぎもとひなた 杉本 陽	1 特別支援学級の先生について	ぼくは、困った時にすぐに気軽に相談できるようにするために先生の人数を増やしてほしいです。 提案した理由は、僕は勉強や生活で困ったことが多いからです。その時に普段相談できる先生はいますが、その先生は僕だけじゃなくて、他の子供の相談にも、のらなくてはいけません。だからすぐには相談できないときもあります。もし、先生が増えたら相談が更にしやすくなります。 そこで、先生を増やすための、方法を3つ考えました。 1つ目は役場の人や図書館の人を呼ぶ方法です。考えた理由は、同じ公務員だから行けると思ったからです。図書館は図書館費として7647万円、人件費（給料）として5385万をいただいている。自動貸出機の活用はされていて、人数の削減はされているが、正社員を減らしてパートを増やす。本を直すのはボランティアやシルバー人材に依頼する。そうすることで、正社員の人数を削減することができる。役場は週に5日出勤しているが、週4日の出勤にする。また、近くの市町村の役場の人と協力することで、人数を減らすことができる。そして、役場の窓口を機械化したら人数に余裕が出来ると思います。 2つ目はスカウトして募集する方法です。田原本小学校の良いところを伝えると来てくれると思います。教師になるには、試験があります。その試験を受けるにあたっては現役の先生たちが分からないことなどをサポートしたらいいと思います。 3つ目は塾の先生を呼ぶ方法です。学校と同じで子供達に勉強を教えることが出来ると思ったからです。
3	にしだしゅんすけ 西田 旬祐	1 ボール遊びの場所について	僕は、友達と遊ぶときに、よくボール遊びをします。キャッチボールやサッカーをしたいのですが、近くに広い遊び場所がありません。 そのため、いつも家の敷地内の駐車場でやっています。たまに別の敷地に入りそうで不便です。そのため、みんなでのびのびとボール遊びができません。 田原本小学校は、現在、仮設の運動場なので、かなり小さくなっています。このままだと、外でボール遊びをする場所が少ないので、外遊びに行く回数が減ってしまって運動不足にならないか心配です。

順番	質 問 者	テーマ	質問または提案の内容
3	にしだしゅんすけ 西田 旬祐	1 ボール遊びの場所について	そこでみんなが快適で、安全にボール遊びができるところを増やして欲しいです。
4	ふくおかのぞみ 福岡 望	1 寺川のゴミについて	私は登下校中に寺川の近くを通りますが、川に缶やスーパーの袋などのゴミが流されているのをよく見かけます。 さらに、大雨のときはゴミが多くなっていると感じます。見ていると気持ちよくなれないので、どうか、ゴミを減らしたいです。 そこで、ゴミ拾いをしてはどうでしょうか。 今までも町でゴミ拾い活動をしているようですが、活動から日がたつとまたゴミが落ちているようになります。寺川だけじゃなく、歩道、車道もです。 このことから、ゴミ拾い活動の回数を増やしたらいいと思います。 また、参加する人に子供が少ないため、小学校の行事やイベントにしたり、参加した人にはなにか特典があるといいと思います。
5	むかいでなつき 向出 奈津希	1 ごみのポイ捨てについて	最近、駅やいろいろなところでごみのポイ捨てや放置をする人などをよく見かけます。 さらに、ゴミ箱がないからと言いペットボトルを捨てるところにコーヒーの缶などが捨てられていることがあります。 そこで提案するのが、ゴミ箱を増やすことです。 ゴミ箱の種類や捨てるところを増やしたり、色々なところにおいたりするとポイ捨てが1つでも減ると思います。 具体的にゴミ箱を置いたほうがいいと思う場所は、公園・駅の近く・自動販売機の横だと思います。
6	よしだこうせい 吉田 幸誠 (議長)	1 公園の数の少なさについて 2 交通をもっと利用しやすくについて	小さい子や小学生などが遊ぶところが田原本小学校区内には、少なく津島神社などある特定のところばかりにかたよって遊んでいます。 そのため、遊具の順番待ちや他の子を気にせず、思いっきり遊ぶことがなかなか難しいです。 そこで、他にも校区内で利用しやすい遊び場所を作って欲しいです。また、他の近所などにある小さな公園は、草がたくさん生えていたり、色が古くなって錆びていたりするなど、少し使いづらいところがたくさんあります。 だから、遊具の色を塗り直したり、利用しやすいように草ぬきなどをしたりして、公園をもっと利用しやすいものにしてほしいことと、新たな公園をつくることを提案したいです。 田原本町の車での利用方法としては、タクシーと「tawamo」があります。 タクシーの良さは、電話をしたらすぐに来てくれることです。一方、課題は値段が高く電話をしないと来てくれないので急いでいる人には不向きです。

順番	質 問 者	テーマ	質問または提案の内容
6	よしだこうせい 吉田 幸誠 (議長)	2 交通をもっと利用しやすくについて	「tawamo」の良さは、値段が安く、電話をすればすぐに来てくれるので便利です。 一方、課題は「tawamo」の台数は、町内で2台しかないので、その2台のタイミングが合わなければ電話をしてもすぐに来てくれないことです。 そこで、お年寄りの方や車を持っていない方、すぐに利用したい方々がもっと気軽に利用しやすくなるために、次のことを提案します。 1つ目は、「tawamo」の台数を増やすことです。今は2台しかないので順番待ちが多く発生します。ですが台数を増やすことによって順番待ちが少なく効率良くなるのでより便利になると思います。 2つ目は、バスのような「tawamo」を試行してみることです。毎回「tawamo」を使う際、急いでいる人はいちいち電話をする余裕がないかもしれません。 だから、一度バスのように呼ばれなくてもある場所まで連れて行ってくれる「tawamo」を作ってみても良いかもしれません。 このようにして、田原本町で住んでいる方々が、もっと豊かに暮らせるように町の少し不便な面を変えてみてほしいと思います。
7	うめだりょう 梅田 遼 (副議長)	1 交流の場をつくることについて 2 夏の通学路について	調べたところ、現在は、田原本町には大きな祭りが、津島神社のぎおんまつり、鏡作神社の御田祭、秋祭りなどがあります。 他にも祭りなどのイベントがもっと行われたら、住民たちの交流の場も増えるかもしれないし、いい思い出にもなると思います。 例えば、親と子どもが一緒に出し物をする、また、知らない人たちとスポーツをしたりするとイベントの数も増えて、街がより豊かになると思います。 夏の帰り道は暑い時が多いです。体を冷やすものがない人や、帰るときにいきなり暑くなったりしたときは、お茶があっても熱中症になる可能性があります。家まで遠い部団の人、例えば学校から家まで30分以上かかる部団の人は特にやりやすいです。 そうならないように、7月と9月の雨以外の日の帰りにバスでそれぞれの部団の集合場所近くまで行ってもらおうとそんなことがなくなると思います。

※質問及び順番等につきましては変更になることがあります。